



## はじめに

私たちのまちは、海・山・温泉の豊かな自然に恵まれ、浜坂松葉ガニやホタルイカといった海の幸、神戸ビーフの素牛である但馬牛などのほか、日本遺産に認定された北前船寄港地や麒麟獅子などの文化、歴史といったさまざまな地域資源を持っており、これらの豊富な地域資源を活かしながら、町名に「温泉」のつく町として、町内に4つ（湯村温泉、浜坂温泉、七釜温泉、二日市温泉）ある温泉を最大限に活用し、『おんせん天国』をキーワードにしたまちづくりを進めています。



近年の本町を取り巻く環境は、急速な少子高齢化や過疎化の進行、それに伴う地域経済の停滞、自然災害や感染症などのリスクに対する安全・安心への備え、飛躍的な情報通信技術（ICT）の進展など、あらゆる分野において大きく変化しています。

そのため、これまで以上に、本町の実情に応じた参画と協働のまちづくりを進めながら、国際社会共通の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の考えを取り入れ、持続可能な地域づくりを推進することが求められています。

これまで本町では、平成28年度に策定した第2次新温泉町総合計画の基本構想及び前期基本計画に基づき、さまざまな施策を展開してきましたが、令和3年度をもって前期基本計画の計画期間が終了するため、このたび、令和4年度を始期とする後期基本計画を策定しました。

今回策定した後期基本計画では、基本構想に定めるまちの将来像「海・山・温泉人が輝く 夢と温もりの郷—ふるさとの未来へ“つなぐ”まちづくり—」の実現に向けて、本町の最重要課題である人口減少問題を柱とした対策を「重点戦略」として定め、重点的かつ戦略的に取り組むこととしています。

最後に、本計画の策定にあたり、慎重にご審議を賜りました新温泉町総合計画審議会委員の皆さま、町議会議員の皆さまをはじめ、アンケート調査などで貴重なご意見をいただきました住民の皆さまに、心から深く感謝申し上げます。

令和3年12月

新温泉町長 西村 銀三